

第3回東京アフリカ開発会議(TICAD)にむけて

今年の9/29～10/1に東京で開かれる「TICAD 」。アフリカに関わる日本の市民が集まり、「TICAD のための市民行動(ACT2003)」が活動を開始、ARCからも小峯茂嗣事務局長をはじめ、ボランティアの仲間たちが参加しています。今回は、このTICAD とACT2003についてご紹介いたします。

TICAD IIIとは？

1993年10月、日本で初めてアフリカの開発に関する国際会議「アフリカ開発会議(TICAD: Tokyo International Conference on African Development)」が開かれました。1998年に第二回が開催され、今年の9月29日から10月1日に第三回目が開催されるのがTICAD IIIです。3月上旬にはアフリカのエチオピアでアフリカ各国およびNGOを交えて準備会合がもたれ、その後3つの地域会合を経て本会合に至り、「TICAD10周年宣言」や「行動計画」が採択される予定です。

ACT2003とは？

ACT=Action Civile pour Ticaidとは、アフリカ開発に関心を持つ日本の市民、アフリカで開発協力活動を行っているNGOが集まり、TICAD IIIが、草の根、とりわけアフリカの市民の声を反映させより具体的な成果を出すために提言活動を行うキャンペーンです。

ACT2003の基本姿勢

TICADは政府レベルの会議ではありますが、その結果として生まれる開発政策やプロジェクトの影響を直接的・間接的に被るのはアフリカの地域社会の人々であり、また現場での活動に携わるNGOでもあります。

現地NGOとのネットワークを持ち、草の根レベルで活動する人々を支援してきた私たちは、2003年9月に開催されるTICAD IIIに向けた一連の会合に参加し、自らの問題意識・知恵・経験をこれに反映させることで、アフリカの人々によるアフリカの開発に協力したいと考えます。

このような考えから、私たちは、TICAD3のための市民行動(Action Civile pour TICAD3: ACT2003)として、アフリカ、および他の海外のNGOと協力して、行動していきます。

ACT2003の活動目標

TICAD IIIに対して：

- 1：アフリカの開発にアフリカの人々の声が反映される会議を実現する
- 2：各国政府ならびに国際機関に対する政策提言
- 3：世論の喚起と、市民・NGOの声の反映

ACT2003の行動計画

1)TICAD本会議とそのプロセスにおける市民・NGOの参加

TICAD本会議に向けたプロセスにおいて、「TICAD III・外務省-NGO協議会」や、アフリカ各地域で開かれる準備会合への市民・NGOの参加を図り、本会議で採択される宣言文における市民・NGOの見解を反映させるよう努める。

また、政策対話の場であるTICAD III本会議においても、全セッションへの参加、発言の確保、提言書の提出などの行動を進め、市民・NGOからの見解を、日本政府を含むTICAD主催者の「アフリカ開発政策」に反映させるよう努める。また、提言作成のために、テーマ別の分科会を設ける。

2)キャンペーンの展開

上記の1)を達成する上での土台となる、TICAD IIIや広くアフリカ全般に関する日本市民の関心と行動を、情報発信・イベント・セミナー・シンポジウム開催などを通じて喚起する。

[ACT2003事務局]

〒110-0015 東京都台東区東上野 1-20-6
丸幸ビル 5階 AJF 気付
電話：03-3831-2772 F A X : 03-3834-6903
メール：act2003@khaki.plala.or.jp
U R L : <http://www.ajf.gr.jp/ticad/act2003/>
銀行口座：三井住友銀行上野支店
(普)7830004 ACT2003
郵便振替口座：00190-5-562577ACT2003

ACT2003 作成「TICAD について Q&A」

Q . TICAD (ティカッド) は日本語で?

A . 「アフリカ開発会議」と言います。TICAD は、'Tokyo International Conference on African Development'の略ですから、直訳すれば「アフリカ開発に関する東京国際会議」となりますが、今はそう言いません。

Q . いつ行われたのですか?

A . 1993 年の 10 月に第 1 回目の会議が開かれました。第 2 回目は、それから 5 年後の 1998 年 10 月
に開かれ、今年 (2003 年) の 9 月 29 日から 3 日間、第 3 回目の会議が予定されています。

Q . 主催者は誰ですか?

A . この会議は、共催者会議です。日本で開かれますが、日本政府が単独で主催する会議ではありません。UNDP(国連開発計画)、UNOSCAL(国連アフリカおよび最貧国特別調整室)、GCA(アフリカのためのグローバル連合)、世界銀行という 4 機関と日本政府が共催する会議です。

Q . どんな人が参加するのですか?

A . アフリカ各国の元首、閣僚が参加します。国際機関や欧米のドナー、アジア各国の政府も参加します。NGO からの参加者は、第 2 回目から認められ、今年の第 3 回会議にも参加の予定です。経済界の動きについては、よくわかっていません。

Q . 会議はどこで行われますか?

A . これまでずっと東京で行われました。今回も同様です。

Q . 議題は何ですか?

A . TICAD について述べます。3 月 3 日、4 日の準備会合 (於エチオピア) では、以下のような提案にほぼ落ち着きました。

Plenary session (全体会):

-10years of the TICAD Process (TICAD プロセスの 10 年)

-Support for NEPAD (NEPAD へのサポート)

Priority Area/Approach (重点分野/重点アプローチ)

-Consolidation of Peace (平和の強化)

-Governance (ガバナンス)

-Agricultural Development (農業開発)

-Private Sector Development (民間セクターによる開発)

-Infrastructure (インフラストラクチャー)

-HRD (人的資源開発: 教育・保健など)

-Water Supply (水供給)

-HIV/AIDS and Infectious Diseases (保健、エイズ、感染症)

-ICT (情報コミュニケーション技術)

-South-south Cooperation (南南協力)

Outreach Session:Expansion of partnership (拡大セッション:パートナーシップの拡大):

-Dialogue with the civil society (市民社会との対話)

-Dialogue with the private sector (民間セクターとの対話)

Q . 成果物は?

A . 第 1 回が「東京宣言」(Tokyo Declaration on African Development)、第 2 回は東京行動計画(Tokyo Agenda for Action)という文書を採択しました。拠出金額を約束するという会合ではありません。第 3 回は「TICAD10 周年記念宣言」の他、議長サマリーが採択される予定と聞いています。

今後のスケジュール

6 月 5 日・6 日

第 2 回共催者地域会合 (ケニアで
開催: 東部・北部アフリカ諸国が
対象)

6 月 23 日・24 日

第 3 回共催者地域会合 (カメルーン
で開催: 西部・中部アフリカ諸
国が対象)

8 月初め

ACT2003 主催「TICAD・NGO シ
ンポジウム(仮)」日本にて開催(詳
細・未定)

Q . 第 1 回目の時、NGO はどうしましたか？

A . まず、TICAD は一貫して政府間会合です。1993 年の第 1 回会議では、NGO の参加は全く認められませんでした。アフリカの開発に関する会議に政府の意見だけが盛られる、そのことに危機感を持った日本の NGO、市民および研究者はカンパを集め、アフリカの NGO をゲストに迎え、アフリカシンポジウムと題するイベントを実施しました。

Q . 第 2 回目の時は、どうでしょうか？

A . 日本の NGO、市民は ACT(Action Civile pour TICAD)という連合体を結成し、アフリカの NGO、カナダの NGO と合同で提言書を作成しました。本会議に提出しました。本会議にもアフリカの NGO と共にオブザーバーとして参加しています。

Q . 今年は、どうしますか？

A . 昨年 8 月から、旧 ACT のメンバーが集まり、会合を重ねてきました。10 月 9 日以降、ACT2003 という名称の連合体を結成し、今年 4 月 21 日からは新体制の下、本会議およびそのプロセスに対する活動を行っていきます。

Q . 具体的には何でしょうか。

A . 以下の活動を考えています。

- ・アフリカの NGO をゲストに迎えたシンポジウムの開催、
- ・アフリカの NGO と合同で提言書を作成、本会議に提出
- ・3 回の地域会合に対する可能な限りのインプット
- ・本会議の全てのセッションにおける参加

現在、ACT2003 では、4 つの分科会が立ち上がっています。

紛争予防・平和構築

食料・農業・農村開発

債務

感染症



の 4 分野です。TICAD の議題に符合する形ではありませんが、可能な限り、提言書作成、シンポの開催等に向けた活動を行っています。また、同時に、日本国内でアフリカに対する関心を広く喚起することも考えています。

Q . 基本的なスタンスについてもう一度。

A . 10 年前のアフリカシンポジウムで、アフリカのゲストが語った「アフリカで日本が何をしているのか、そのことを日本人自身が知らない。その意味でアフリカは遠いのだ。」という発言は、今も生きています。

これまで TICAD に関わる日本の NGO、市民は、アフリカの草の根で活動しているひとびとの声を聞くというスタンスをとってきました。アフリカ開発の結果を引き受けるのは、現地の人々に他なりません。そうであれば、その人たちの声を伝え、彼ら彼女らの声を実際の開発に反映させることが必要だと考えます。

TICAD がよく分かる！関連情報コーナー

ARC の TICAD 関連ページ http://www2.gol.com/users/intrband/arc/ticad3/ticad_top.htm

ACT2003 広報用 ML への登録 <http://www.ajf.gr.jp/ticad/act2003/>

外務省の TICAD HP http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/index_tc3.html

国連開発計画 (UNDP) <http://www.ticad.net/index.cfm>

アフリカのためのグローバル連合 (G C A) <http://www.gca-cma.org/eticad.htm>

SAP LINK (Shiratori's African Projects) <http://shiratoris.com>

ARCの活動へのご協力をお願いします！

ご入会のおすすめ

ARCの会員になると・・・

- ・ニューズレター「Peace Building」の購読ができます。
- ・ARC主催の報告会・シンポジウムへ無料参加できます。
- ・今後設置予定の「ARC アフリカ紛争研究会 仮称」への出席、報告の資格を得られます。
- ・会員用メーリングリストへの参加資格を得られます。意見交換、情報交換が可能。
- ・ARCが保有するアフリカ紛争に関する資料の閲覧や、現地の情報を照会できます。

資料請求

- ・無料でお送りいたします。お気軽にお問い合わせください。
- ・電話 **045-439-4003** E-Mail intrband@gol.com

寄付のお願い

ARCの活動にご賛同くださる方の寄付をお待ちしております。海外での活動報告をお送りします。

振込先 郵便振替口座番号 00250-2-57833
名義人 アフリカ平和再建委員会

ARC ルワンダ事務所メールマガジン〔無料〕

ARCルワンダ事務所より、遠くて遠いルワンダのことをもっと身近に感じて頂くためのメール通信を開始いたしました！どなたでも登録すれば御覧になれます。

登録はこちらから！

<http://www.egroups.co.jp/group/arcwanda>

アフリカ平和再建委員会 2002年度収支報告			
2002.4.1～2003.3.31 (単位：円)			
収入の部		支出の部	
海外活動助成金	4,376,600	海外事業費	6,312,082
国内活動助成金	630,000	国内事業費	27,149
無指定寄付	898,540	人件費	930,000
会費	425,000	事務書利用費	510,000
物販売上	632,675	通信費	198,665
利息金	10	広報費	50,525
受託事業	60,000	文房具	21,353
ルワンダ支援	578,600	記録費	3,003
コンゴ被災者支援	39,549	機材費	724
		交通費	113,980
		物販関係経費	20,160
前年度繰り越し	691,979	雑費	105,682
合計	8,332,953	合計	8,293,323
		繰越金	39,630

アフリカ平和再建委員会 (Africa Reconciliation Committee: ARC)

〒222-0026 神奈川県横浜市港北区篠原町2816-22 B1F-A

Tel : 045-439-4002 Fax : 045-439-4004

E-mail : intrband@gol.com ホームページ <http://www2.gol.com/users/intrband/arc>

